

2022年11月のアルミニウム圧延品の生産・出荷動向について(案)

2022年12月27日



1. 2022年11月のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

◆ 概況:	・板:	生産・出荷ともにマイナス。「自動車」はプラスだったが、それ以外の主要な用途がマイナスとなった。
	・押出:	生産・出荷ともにマイナス。「自動車」「建設」とともにマイナス。
	・はく:	生産・出荷ともにマイナス。コンデンサ、リチウムイオン電池など「電気機械」の減少が継続、「食料品」もマイナスだった。

・板類（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 缶材 29,515ト (▲ 6.1%) : ビール類は10月の値上げ以降販売が減少しておりDI缶はマイナス、ボトル缶はプラスだった。
- (2) 自動車 16,161ト (1.6%) : 国内の四輪車生産台数の回復を受けてプラスが継続している。

2022年10月の国内四輪車生産台数: 694,160台(前年同月比+34.7%)

・押出類（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 建設 37,665ト (▲ 4.8%) : 住宅着工戸数の減少によりサッシ向けが減少した。
2022年10月の住宅着工戸数: 76,590戸(前年同月比▲1.8%)
- (2) 自動車 10,754ト (▲ 0.8%) : 半導体不足による生産制約等によりトラック向けがマイナスとなった。

・はく（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 電気機械器具 4,837ト (▲ 20.5%) : 世界的なスマホの販売減少や、非接触型端末などコロナ対応機器特需の反動減などにより減少しているが、減少幅は前月より縮小した。(コンデンサ: ▲19.1%、リチウムイオン電池: ▲21.5%)
- (2) 食料品 1,885ト (▲ 13.3%) : 物価上昇により消費者の節約志向が強まっていることや、一部の食料品包材の素材転換などによりマイナスとなった。

◎2022年11月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント		出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	92,666	▲ 8.9	7ヶ月連続でマイナス	板類	91,270	▲ 9.5	8ヶ月連続でマイナス
押出類	59,751	▲ 6.3	11ヶ月連続でマイナス	押出類	60,728	▲ 6.2	9ヶ月連続でマイナス
板押計	152,417	▲ 7.9	8ヶ月連続でマイナス	板押計	151,998	▲ 8.2	9ヶ月連続でマイナス
はく	9,287	▲ 14.7	9ヶ月連続でマイナス	はく	8,814	▲ 15.5	9ヶ月連続でマイナス